

# TILAA（ティラア）サウナルーム施工要領

※Ver2タイプ 施工要領



## ティラア サウナルーム 施工マニュアル Ver2 ～サウナルーム 組立て用～

※サウナヒーターの取付け説明書は別紙になります。

※無断での他社へのデータ送信を禁止します。

この施工要領書は、標準的な施工方法を説明しています。

## はじめに

ご使用前にこの説明書をよくお読みになり、保管してください。

**サウナルームの設置には、3~4人の人手が必要です。**サウナの設置は、破損が起こりやすいので、3人未満では行わないでください。本製品は住宅専用に設計されています。

※特に1500サイズのガラスドアパネルが重たいです。

- ・居住者がサウナで使用するヒーターおよび制御機器の保証期間は納品後1年間です。
- ・設置／使用／メンテナンスの指示に従わなかったことに起因する故障は保証の対象外となります。
- ・推奨していないサウナストーンを使用したことによる不具合は、保証の対象外となります。
- ・このサウナヒーターは住宅向けの使用を目的としています。公衆サウナ施設・ホテルなどの使用は不可です。又、医療用サウナヒーターではありません。

お客様自身と製品の安全のために、以下の注意事項を必ず守ってください。

指示に従わない場合、重傷、物的損害または死亡に至る可能性があります。安全に関する指示を読み理解し、従ってください。

また、納品時は、安全性を考慮し、荷崩れを防ぐために木製パレットでの納品（2100 x 1300 / 1600 x 150mm）です。適切な産業廃棄物処分業者に委託にて現地で廃棄処分をお願いしております。

## 注意事項

1. サウナ内には、配管や給排水設備は設置しないでください。
2. サウナは完全に平らな場所に設置してください。
3. サウナは乾燥した場所で、換気ができる場所に設置してください。
4. 可燃性の物や腐食性の化学物質は、サウナから遠ざけてください。
5. 電源ケーブルは、自由に動かせるように設置し、つまずかないようにしてください。
6. 電源ケーブルが損傷した場合は、直ちに使用を中止してください。
7. 付属していないアクセサリを取り付けしないでください。

※以下の写真は、参考のために使用されています。お手持ちのサウナが写真と異なる場合は、手順に沿って設置してください。

付属品について

- ・ヒーター本体／ACボックス（制御盤）・コントロールパネル／サウナストーン
- ・シェードランプ（照明）／電球 x 2灯（200V）／LEDライトコントローラー
- ・温湿計／砂時計
- ・ロウリュウ用バレル・スプーン

## サウナルームの設置の前に①

### 梱包について

パネルは全てノックダウン式になります。  
 各梱包に床パネル／側面パネル×2／背面パネル／天井パネルの5つのパネルが入っています。

又、床+天井パネルの梱包にベンチ部分、アクセサリー関係が含まれています。



梱包サイズについて (TL 1200の場合)

- ・床+天井パネル：約1,200×1,100×250mm (床と天井パネルで1梱包です)
- ・サイドパネル×2枚分：約2,100×1,100×200mm (両サイドのパネルで1梱包です)
- ・正面+背面パネル：約2,100×1,300／1,600×250mm (正面のガラスパネルと背面パネルで1梱包です)

パネルの梱包サイズが大きいため、マンション等の場合の搬入経路を確認してください。  
 その他、ヒーター本体、サウナストーン、制御盤+コントロールパネル、遮熱板、桶でサウナ1式合計で梱包は8個口となります。



## サウナルームの設置の前に②（注意事項）

### 搬入経路について

- ・ サウナ設置場所までの搬入経路をご確認ください。  
（リビングなどからサウナ搬入できるかどうかをご確認ください。）
- ・ 図面上でサウナルームの設置スペース、また資材を仮置きするスペースが確保できているかどうかをご確認ください。
- ・ サウナ施工の際、サウナ設置の前部分は組立するスペース確保の為、1間以上のスペースを確保してください。
- ・ サウナ設置場所の天井高は $h=2,400$ 以上確保してください。
- ・ サウナ設置場所の部屋に入る入口の開口寸法をご確認ください。  
\* 開口が狭すぎると搬入ができません。
- ・ 2階へ設置する場合、階段で運べるかどうか？人数の確保など、搬入方法をご確認ください。
- ・ 設置場所（特に2階の場合など）の積載重量は問題ないかどうかをご確認ください。  
\* 1500サイズですと総体で200kg超えます。

## サウナルームの設置の前に③（注意事項）

### 設置場所について

- ・ **サウナルームの組立・設置には、3~4人の人手が必要です。**サウナルーム自体は無垢材の為破損が起こりやすいので、3人未満での施工は行わないでください。
- ・ サウナルームは屋内専用のサウナルームの為、屋外（ベランダ含む）には設置できません。又、浴室など、水が掛かったり、多湿の場所でも設置できません。
- ・ サウナルームは工場（中国）で製造後、組立に問題がないかどうか、一度仮組みして検査の上出荷されております。その為、サウナルーム自体に僅かなキズなどが付いている場合がありますので、その際はフローア用の補修マーカー等で対応をお願いします。
- ・ サウナルームの壁パネルには断熱材が入っておりますので、基本的に設置場所の壁は一般的な内装仕上げで問題ありません。  
※但し、一部自治体等では「準不燃材による壁・天井の仕上げ」を指導される可能性もありますので、施工業者に確認してください。
- ・ サウナルームは無垢材を使用している為、湿気によるカビや木材の劣化が早い事が想定されます。サウナを設置する室内では、換気の設置、使用後は通気させるために窓を開ける等、木材を使用している事をご理解の上、対応をお願いします。
- ・ サウナルームの室外側は塗装されておりますが、室内側は全て無塗装となっております。
- ・ サウナルームの設置スペースに関しましては、壁パネル3方の壁は100mm以上のクリアランス天井パネルには、制御盤（ACボックス）が設置されますので、天井パネルと室内の天井のクリアランスは300mm以上を確保してください。
- ・ サウナルームの組立に関しても、十分なスペースが必要となります。天井パネルの組立、制御盤（ACボックス）の天井への設置などの際には脚立が必要となります。両袖の壁横部分には脚立が置けるスペースも必要となりますので、十分な組立スペースの確保をお願いします。
- ・ サウナルームを設置する部屋の床が仕上がっている事が必要です。  
\* 設置場所が狭い場合は、事前に壁仕上（クロスなど）も必要です。
- ・ 新築住宅でサウナルームを設置する場所（ユーティリティなど）が狭い場合はサウナルームの組立はユニットバスの施工~建具枠の施工が終わったタイミングくらい好ましいです（設置場所の床とクロス仕上げが必要となります）。
- ・ サウナルームを設置後、移動する場合は、サウナルームの下に敷く養生材が必要です。

又、Q&Aも参照してください。

## サウナルームの設置の前に④

### 組立ての際に準備するもの

サウナルームを組立てる際に準備する工具関係です。

#### ● パネル組立て時



インパクト  
※ビス関係は付属されています。



ゴムハンマー  
※パネルのはめ込み時にあります。



六角レンチ  
※ガラスドアを外す場合に使用します。

※サウナヒーター施工時に必要な工具関係は、サウナヒーター取扱説明書に記載しています。

## サウナルームの組立について①

### パネルの組立てについて（背面壁パネル）



サウナルームはパネル化されたノックダウン式で納品となります。設置場所での現地組立となります。サウナルーム自体は大工さんであれば半日程度で組立できると思います。又、DIY経験のある方でインパクト等の工具があれば組立は可能と思います。

**正面のガラスパネルは重量（W=1000サイズでも約50kg）ある為、3人以上での組立をお願いします。**

※背面パネルと袖壁パネルには写真の金具が付いておりオス・メスではめ込み式となっています。正面のガラスパネルも同様に袖壁パネルへはめ込み式となります。



- ① 背面パネルを、寝かせて床に置いてください。  
 ※背面パネルの床面を壁の方に向けると起こした際に移動が少なくてすみませす。

※写真は背面パネルとなっておりますが、正面のガラスパネルを寝かせて同様の施工の方が容易にできます。

※パネルを寝かせて設置できるスペースが無い場合両袖壁パネルを立てたまま、背面パネルを上からはめて組立てください。



- ② 袖壁パネルを天井面からスライドしてはめ込みます。



- ③ 反対側の袖壁パネルも同様に天井側からスライドしてはめ込みます。

## サウナルームの組立について②

### パネルの組立てについて（床パネルの固定）



- ④ 両サイドの袖パネルをはめ込んだ後、起こして床パネルを入れて水平・垂直を確認して。ビスで固定してください。



- ⑤ 床パネルをサイドパネルに付属のビスで固定してください。全部で4箇所固定します。



- ⑥ ビスで固定した後、付属のシール（ビス頭隠し）で貼ってください。



※取付けビスは「screw for inner top and bottom」を使用します。



※室内側の背面壁に、このような注意事項貼ってあります。

内容は

- ・火傷のリスクを避けるために
- ・オーバーヒートのリスクを避けるために
- ・火事を起こさないために

が3ヶ国語で記載されています。

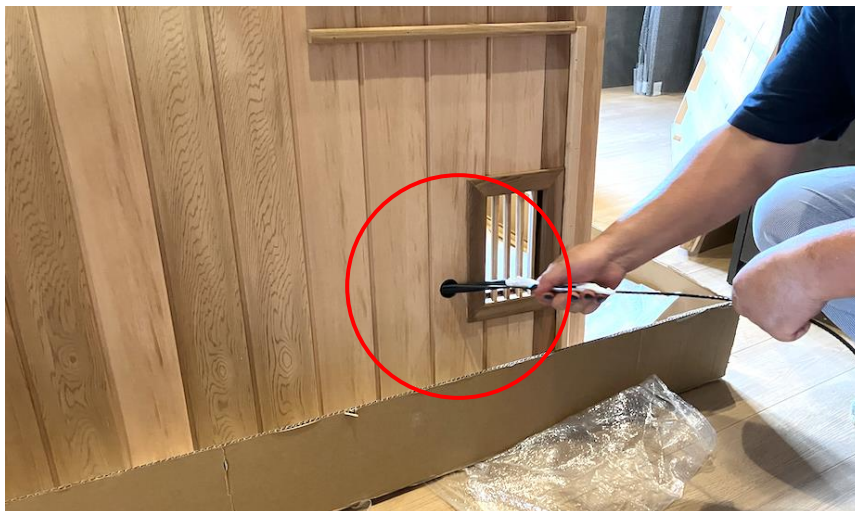
## サウナルームの組立について③

## パネルの組立てについて（配線を通す）



※ヒーターが設置する袖壁パネルには予めヒーターから制御盤（ACボックス）を通す4芯の配線が壁内を通っています。抜けないように注意して組立てください。

又、ヒーター～制御盤までの配線に4芯配線+アース線が必要となりますので、4芯線とヒモのような物をテープで止めて一度4芯線+ヒモを抜き、アース線を4芯線と一緒にテープを貼って、戻すとアース線も壁内を通すことができます。  
パネルを組立てる前にアース線を通すと容易に通すことができます。



## サウナルームの組立について④ (パターン①)

### パネルの組立てについて (正面ガラスパネル)



⑦ ガラスドアの正面パネルをサイドパネルの金具にはめこみます。

※正面パネルは非常に重たいですので、注意しながらはめ込んでください。下記のように室内側に持ち上げる人がいるとはめ込みやすいです。



※注意

正面パネルをはめ込む時、ガラスの開ドアが開きやすく、破損の可能性もありますので、養生テープなどで、ガラスドアが開かないように固定してください。

もしくは、ガラスドアのヒンジは六角ネジで固定されておりますので1度、ドアを外してから、正面パネルをはめこんでください。

## サウナルームの組立について④ (パターン 2)

### パネルの組立てについて (正面ガラスパネル)



⑦ ガラスドアの正面パネルをサイドパネルの金具にはめこみます。

※正面パネルは非常に重たいですので、ガラスドア自体丁番 (ヒンジ) を室内側から、4mmの六角ネジを使うと、ヒンジからガラスドア部分が外れます。



- ・ヒンジからガラスドア部分を外してから、正面パネルをサイドパネルの金具にはめ込みます。ガラスドアは非常に重いので、2名以上で外してください。
- ・正面パネルをはめ込んだ後、外したガラスドアを六角ネジでサイド取付けてください。



六角ネジを外した、ガラスドア



六角ネジを外した枠側のヒンジ

## サウナルームの組立について⑤

### パネルの組立てについて（天井パネル～断熱埋込み）



- ⑧ 天井パネルを載せて室内側からビスで固定してください。又、天井パネルのカバー（合板）もありますので配線など終わり次第、固定してください。



※取付けビスは「screw for inner too and bottom」を使用します。



- ⑨ 天井パネル設置後、断熱材を埋めます。断熱材は、天井部分が一番熱くなる事、熱のロスを防ぐ為に施工します。天井パネルカバーを設置後に、制御盤（ACボックス）も天井パネルカバーに設置します。

断熱材はなるべく隙間なく埋め込んでください。



- ⑩ 天井パネルには、照明関係（シェードランプ、背面LED）の配線やトランスがありますので、断熱材を欠き込んで断熱材を入れてください。（ハサミで容易にカットできます）

又、換気口（排気）もありますので、換気部分には空けて断熱材を入れてください。



- ※推奨断熱材（弊社でも用意しています）
- ・ニチアス ロックウール（MG）#080（密度80kg/m<sup>3</sup>）
  - サイズ：25 x 605 x 910mm
  - サウナルームの各サイズ共、1台につき、断熱材 x 3枚使用します。



## サウナルームの組立について⑥

### パネルの組立てについて（ドアハンドル～シェードランプ、座面）



- ⑪ ドアハンドルをガラスドアに取り付けてください。

※ビスが含まれてますので、室内側からビスで固定してください。

木製のドアハンドルで、塗装している方が室外側、未塗装が室内側に取り付けてください。



- ⑫ ランプシェードの配線を接続し、金具にはめ込んで取り付けてください。

※付属のLED電球は200V用です。  
 200VのLED照明であれば、取付け可能ですが、100V用は付きません。

※ランプシェード/バックレストのLEDテープライトは室内の天井に付いているスイッチでON/OFFできます。



- ⑬ サイドパネルにある溝（向かって左側のみに溝があります）に、ベンチの“すのこ部分”をはめ込んでください。その後、座面部分を載せてください。

※座面を固定する木の小辺が部品に入っていますので付属のビスで固定してください。

## サウナルームの組立について⑦

### 付属品の組立てについて



※取付けビスは「common screw」を使用します。

- ⑭ 砂時計／温湿度計の付属品が付いておりますので、使い勝手の良い位置に取り付けてください。



- ⑮ 遮熱板も付属されておりますので、ヒーター設置後、ヒーター上部の天井へフックを取付けて吊るしてください。



- ⑯ ヒーターに付属されているカバーを壁側に設置してください。ヒーターからの熱気が直接壁に当たるのを防ぐ為です。



- ⑰ 天井／床パネルの梱包に、ヒーター用のフェンスが含まれております。ヒーター設置後に使用します。



※取付けビスは「L-shaped Angle iron for stove wood frame」を使用します。

**※サウナヒーターの設置～電気配線に付きましては、別紙の取付け説明書を参照してください。**

輸入元

**株式会社ヤマチコーポレーション 建材事業部**

札幌本社：〒060-0001 札幌市中央区北1条西10丁目1-17 北一条山地ビルディング3F  
東京支店：〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町1丁目5-7 YOUビル8F